

各種進行癌に対する米ぬかアラビノキシラン誘導体 (バイオブラン)を用いた免疫活性化療法

Immunoactivation therapy for various progressive cancers using rice
bran arabinoxylan derivative (Bio bran)

恒川 洋¹⁾, 前田 浩明²⁾

1) 恒川消化器クリニック・東海ホリスティック医学振興会, 2) 大和薬品株式会社研究開発部

We studied to combine the conventional standard treatment with various holistic complementary and alternative medicines (CAM) for 25 patients with recurring and metastatic cancers. The present study papers on the results with immunoactivation therapy using Biobran. Results shows that NK cell activity increased in 22(88%) of the 25 cases and tumor marker level decreased in 13 cases (52%). Immunoactivation therapy for progressive cancer using Biobran may provide a superior CAM that can also improve a patient's QOL.

【目 的】

我々は癌の標準治療後に再発・転移したり, 西洋医学的に治療困難と判定された患者に対し, 標準的な治療に加えてホリスティックな考え方にに基づき, 様々な補完・代替医療と養生法を組み合わせた多彩な統合医学を行ってきた。特に, 抗癌化学療法には抗癌作用と同時に免疫力の低下作用があるため, 免疫活性化療法を併用することにより副作用の軽減が可能となった。今回は, 様々な進行癌患者に対して免疫活性化作用があるバイオブランなどを用いた免疫活性化療法の治療成績について報告する。

【方 法】

各種の癌患者25名に標準治療と並行して漢方服用, ビタミンC大量点滴などにバイオブランを加えた免疫活性化療法と食・体・心の養生法を行った。免疫活性化の指標としてはNK細胞活性(NK活性)の推移を腫瘍マーカーと共に経時的(6~27ヶ月間)に測定した。

【成績と症例呈示】

経過観察した25名中22名(88%)にNK活性の上昇を, 13名(52%)に腫瘍マーカーの低下を確認した。骨転移(腰椎, 骨盤, 肋骨)のある再発乳癌患者では, 抗癌剤治療と共にバイオブラン3g/日を投与したところ, 1ヶ月後にはNK活性が上昇し2ヶ月後には腫瘍マーカーの急激な減少が観察され, 7ヶ月後には骨転移による痛みなど自覚症状が消失した。24ヶ月を経た現在もNK活性の安定化と腫瘍マーカーの正常化が持続し, QOLは良好である。

【結 論】

進行癌に対する免疫活性化療法においてバイオブランは免疫活性化作用のみならずQOLを良好に保つ作用を有すると考える。